

プロヴティフ 8 日目。快晴の 1 日でした。朝から気温がぐんぐん上昇しました。日中は強い日差しと暑さに選手たちが苦勞するほどでした。風は時折変わるもののスタートからゴール方向へ吹く順風の時間帯が多かったようです。

午前 11 時、U19 全体クルーミーティング。いよいよ始まるレースについての最終確認をしました。

- ・スタートで艇を曲げないで進めよう。
- ・リラックスと集中が重要。
- ・大切なのはコンスタントスピード。スタートダッシュの後のスピードのキープが重要。
- ・スタートは「強く」というイメージではなく、「速く」というイメージで。
スピードを艇にダイレクトに伝えよう。
- ・スタートで乗せたスピードを失わずにコンスタントレートに落とす。その後もスピードに乗り続けることが重要。
- ・キャッチを遅くしない。シャープでコンパクトに。
- ・高速で艇を進める良いイメージを 4 人で共有することが大切。

以上のポイントを全クルーで確認してレースに臨みました。

午後 15 時 24 分 JW4x Heat (予選) 3 組

- 1 位 USA 6:46.61
- 2 位 AUS 6:51.03
- 3 位 GBR 6:51.82
- 4 位 DEN 7:00.63
- 5 位 JPN 7:18.70**

健闘しましたが 5 クルー中第 5 位でゴール。特に大きなミスがあったわけではありません。これが世界の實力かも知れません。トップのアメリカとは実に 32 秒差が付きました。

明日の敗者復活にかけます。フランス・チェコ・イギリス・中国・日本の 5 か国で競います。上位 3 位以内で A/B ファイナル (全体の 12 以内決定) に進めます。明日が勝負です。

午後 15 時 45 分 JM4x Haet3 組

- 1 位 LAT 6:08.02
- 2 位 POL 6:10.77
- 3 位 JPN 6:13.39**
- 4 位 CZE 6:15.55
- 5 位 DEN 6:17.24

よく頑張りました。5 クルー中 3 位でゴール。ラトビア、ポーランド、デンマークなどど

この国の選手を見ても体格が違います。身長も体重も全く比べ物にならないほど日本選手は小さいです。パワーでは劣るかも知れませんが、そこはテクニックと精密なローイングで対応しました。

前半 500m までは殆ど差の無いレース展開でした。コンスタントに入り徐々に差が開き始めました。中盤の 1000m から 1500m にかけて良く粘りました。2位の艇に約 1.5 艇身まで迫ることが出来ましたが捕まえることは出来ませんでした。そのまま 3位でゴール。

明日のクォーターファイナル（準々決勝）に進出です。

対戦相手は、オーストリア、イタリア、ルーマニア、ノルウェイ、オランダです。JW4 x 同様、上位 3 位以内で A/B ファイナル（全体の 12 以内決定）に進めます。明日が勝負です。

なお、JM1 x は本日レースがありませんでした。明日のレースが Heat（予選）となります。対戦相手は、エストニア、ジンバブエ、アイルランド、中国です。4 位以内でクォーターファイナル（準々決勝）に進出です。

レース会場応援スタンドには世界各国からたくさんの応援の方が見えました。その中に日本からの応援団の方々もいらっしゃいました。シニアの応援には 8 + のクルー小谷選手（豊田紡織）のご家族、ジュニアの応援には女子クォド中尾選手（熊本学園大付属高校）のご両親がお見えになりました。選手たちの大きな力となる暖かい応援をして頂きました。スタンドに飾って頂いた横断幕も励みになりました。

本日はありがとうございました。明日も宜しく願いいたします。